

商品名 ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	2149 その他の血圧降下剤	一般名	ニカルジピン塩酸塩注射液
英名	Nicardipine hydrochloride	剤型	注射液
薬価	195.00	規格	25mg 25mL 1管
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	(劇)

ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」の効能・効果

手術時の異常高血圧の救急処置、高血圧性緊急症、急性心不全、慢性心不全の急性増悪

ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、高度大動脈弁狭窄、高度僧帽弁狭窄、心原性ショック、肥大型閉塞性心筋症、低血圧<収縮期血圧90mmHg未満>、発症直後で病態が安定していない重篤な急性心筋梗塞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 脳出血急性期、脳卒中急性期で頭蓋内圧亢進	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 血圧やや低く収縮期血圧100mmHg未満を目安に循環血液量が相対的に減少、大動脈弁狭窄症、遺伝性果糖不耐症、重篤な不整脈、血圧が低い、重篤な腎機能障害、肝機能障害、開心術後の回復管理期	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」の副作用等

1. 麻痺性イレウス、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 低酸素血症、狭心痛、狭心痛悪化、AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、肝機能障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. 肺水腫、呼吸困難、血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満

4. 房室ブロック、過敏症、皮疹、静脈炎	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 頻脈、心電図変化、血圧低下、肺動脈圧上昇、心係数低下、心室頻拍、チアノーゼ、肝機能異常、AST上昇、ALT上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 動悸、顔面潮紅、全身倦怠感、心室性期外収縮、嘔気、嘔吐、むかつき、頭痛、体温上昇、尿量減少、血中総コレステロール低下、悪寒、背部痛、血清カリウム上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. 血圧低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 著明な低血圧、過度の血圧低下、動脈血酸素分圧低下、低血糖、肝不全、腎不全、胎仔死亡増加、分娩障害、出生仔体重減少、出生仔体重増加抑制、炎症、硬結、痛み、発赤、循環不全、心不全	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等：血管拡張薬等	発現事象	過度の血圧低下	投与条件	急性心不全
	理由・原因	-	指示	注意
2. 薬剤名等：血圧降下剤	発現事象	血圧降下作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	両剤の薬理学的な相加作用	指示	注意
3. 薬剤名等： β -遮断剤	発現事象	心機能の低下、過度の血圧低下	投与条件	-
	理由・原因	両剤の薬理学的な相加作用による：①血圧降下作用の増強、②陰性変力作用の増強	指示	注意
4. 薬剤名等：フェンタニール	発現事象	血圧低下	投与条件	フェンタニール麻酔時、 β -遮断剤と本剤の併用
	理由・原因	-	指示	注意
5. 薬剤名等：ジゴキシン				

発現事象	作用を増強し中毒症状＜嘔気・嘔吐・めまい・徐脈・不整脈等＞	投与条件	-
理由・原因	本剤が、主に腎でのクリアランスを減少させ、ジゴキシンの血中濃度が上昇	指示	注意

6. 薬剤名等：ダントロレンナトリウム水和物

発現事象	他のCa拮抗剤＜ベラパミル等＞の動物実験で循環虚脱、他のCa拮抗剤＜ベラパミル等＞の動物実験で心室細動	投与条件	-
理由・原因	高カリウム血症	指示	注意

7. 薬剤名等：タンドスピロンクエン酸塩

発現事象	血圧降下作用が増強	投与条件	-
理由・原因	タンドスピロンクエン酸塩は中枢性の血圧降下作用を有し、相加的な降圧作用	指示	注意

8. 薬剤名等：ニトログリセリン

発現事象	房室ブロック	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

9. 薬剤名等：筋弛緩剤

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤が神経筋接合部位において、シナプス前あるいは後にアセチルコリン放出を抑制、骨格筋の筋小胞体でのCa遊離抑制による筋自体の収縮力の低下	指示	注意

10. 薬剤名等：免疫抑制剤

発現事象	本剤の作用を増強し血圧低下・頻脈、作用を増強し中毒症状＜特に腎機能異常＞	投与条件	-
理由・原因	本剤あるいは免疫抑制剤によりCYP3A4が阻害され、免疫抑制剤あるいは本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

11. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	作用を増強し中毒症状＜神経的＞	投与条件	-
理由・原因	本剤の蛋白結合率が高いため、血漿蛋白結合競合により、遊離型フェニトインが上昇	指示	注意

12. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4が誘導され、本剤の代謝が促進	指示	注意

13. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	CYP3A4が誘導され、本剤の代謝が促進	指示	注意

14. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤の作用が増強され血圧低下・頻脈	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤によりCYP3A4が阻害され、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

15. 薬剤名等：HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤によりCYP3A4が阻害	指示	注意

16. 薬剤名等：アゾール系抗真菌薬

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤によりCYP3A4が阻害	指示	注意

ニカルジピン塩酸塩注射液25mg「サワイ」の配合変化

1. 薬剤名等：pHが高い輸液等

発現事象	本剤が析出	投与条件	点滴静注
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』